

宮城県放課後子ども教室推進事業

宮城県放課後子ども教室推進事業とは？



ストーブも勉強机に早変わり？
【賀美石地区放課後子ども教室
加美町】



「あのね、学校で
こんな事あったんだよ」
【うりぼうズ：丸森町】

県内の小学校区において、すべての子どもを対象とし、放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画（ボランティア活動等）を得て、子どもたちの学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかにはぐくまれる環境づくりを推進する事業です。

特に、宮城県では異年齢集団による様々な体験活動を意図的・計画的に行うことに重点を置いており、地域の方々との交流を通して学校教育とは違った視点から子どもたちの健全育成に取り組んでいます。また、地域の方々にとっても生涯学習の実践の場となっており、地域づくりや地域の活性化にも大きく貢献しています。

平成21年度から「学力向上」につながる取組を行うように努めることとしました。実施教室は、宮城県教育庁義務教育課が作成した「みやぎ単元問題ライブラリー」等の活用など、学習支援を充実させるようはたらきかけています。

本年度は、県内18市町村52教室で放課後子ども教室が行われています。全国的にみると事業規模は決して大きくはありませんが、地域の実情に応じて教室ごとに特色ある取組や活動が行われています。

対象となる子どもたちは？ いつ活動するの？



今日は木工教室です。
刃物だけがをしないように！
【東部のびやか教室：岩沼市】

対象となる子どもは小学校の全児童です。放課後児童クラブ（学童保育）の対象は原則10歳未満の児童となっていますが、放課後子ども教室では対象の制限はありません。学校が放課になってから、異年齢集団の子どもたちが集まって様々な活動に取り組みます。その中で、子どもたちは学校教育の中では経験できない体験学習をすることができます。

子ども教室に参加している子どもたちは、地域や教室の状況にもよりますが、学校が早く放課となる低学年の子どもたちが多いようです。

放課後子ども教室は放課後対策として、「放課後の安全・安心な居場所」を確保するねらいがあることから、平日の活動や開催が

多くなっています。放課後の14時から17時頃までの活動が最も多くなっていますが、中には様々な体験活動や特色ある活動を実践するために週休日や祝日、長期休業日に活動している教室もあります。

どこで活動をするの？



来週はリンゴ狩りです。
「参加する人?」「はい!」
【はまっこキッズ：山元町】

活動する場所は、原則として学校の余裕教室や公的な施設となっています。県内の子ども教室の多くは子どもたちが通う学校内に設置されています。学校内に子ども教室があると移動の心配などがなく、すぐに活動にうつることができます。

また、地域の人たちが学校に足を運ぶことで「開かれた学校づくり」の推進にもつながります。その場合は、学校側と十分に共通理解を図り、双方にとってメリットがあるように工夫することが大切です。公民館やコミュニティーセンターで活動している子ども教室もあります。

どんな活動をするの？



私たち遊び組！俺は勉強派！
【ひまわり学級：松島町】

活動内容は、コーディネーターを中心としたスタッフの方々や活動場所、子どもたちの実態やニーズなどに応じて様々です。学習やスポーツ、ゲームや自由遊び、スタッフの方々との交流活動やゲストティーチャーを招いての体験学習など多彩な活動が行われています。

前述のように、「学力向上」に関わる取組も行っています。教育活動推進員の支援のもと、学校からの宿題に積極的に取り組んでいる教室もあります。子どもたちは放課後子ども教室の中で、「遊び」と「学び」を通して学校教育とは違った面から「生きる力」を育てています。

開設日数や人数に制限はあるの？



脱穀作業の様子です。
25年度に教室を開始しました。
【和小っ子クラブ：石巻市】

開設日数や人数に制限はありません。事業スタッフの数や活動場所、予算などを考慮して市町村や教室の実情に応じて決めることとなります。平成25年度の例では、開設日数が一番多い教室では237日となっており、平均すると約69日程度となります。

安全管理の面から、やむをえず募集人数を定めたり、事前登録制をとっている市町村や教室がほとんどです。どの教室でも事前に開設日数や開設日、活動内容などを周知し、保護者や地域の方々のご支援、ご協力をいただきながら事業運営にあたっています。

【月将館放課後子ども教室
仲良くなろう
お巡りさんと
浦谷町】



スタッフの方々は怎么样了の？



手作りおもちゃで遊びます。
じょうずに乗れたよ！
【八幡小学校放課後子ども教室
多賀城市】

「宮城県放課後子ども教室推進事業実施要綱」では、以下の運営スタッフを配置するように定めています。

子どもたちの安全管理を図る者として「教育活動サポーター」、学ぶ意欲がある子どもたちに対して、学習機会を提供する取組の充実を図る者として「教育活動推進員」、総合的な調整役を担う者として「コーディネーター」の3者です。

子どもたちの健全育成に情熱を持つ地域の方々がそれぞれの役割を担い、事業の運営に大きな役割を果たしています。教室によっては、教育活動推進員を配置せずに、教育活動サポーターと兼務しているところもあります。それぞれ市町村ごとに運営委員会を組織し、事業の運営に関する連絡・調整を行っています。

事業への参加者数はどれくらいなの？



伝統のヨサコイソーラン
みんな激しく踊っています
【金ヶ瀬小放課後子ども教室
大河原町】

実施市町村数や教室数が増加するにしたがって、事業へ参加する子どもの数やスタッフの数も増加してきています。

平成23年度から25年度までの参加者数は以下のとおりです。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
宮城県全体の子ども参加人数(のべ)	82,587人	99,836人	104,390人
特別な支援が必要な子どもの参加人数(のべ)	216人	413人	600人
教育活動サポーターの参加人数(のべ)	8,944人	10,727人	9,803人
教育活動推進員の参加人数(のべ)	1,077人	1,165人	2,668人

子ども教室への参加申込は怎么样了の？



じょうずに読めたかな？
本読みカードにサインして！
【郷子舎：大郷町】

放課後子ども教室は学校の余裕教室を使って行っている場合が多いのですが、学校管理下外の活動となります。したがって、子ども教室に関する窓口は学校ではなく教育委員会（生涯学習課や社会教育課、公民館など）となります。教室を開設している学校では、教育委員会から学校をとおして参加申込に関する書類を配布されるケースが多いようです。

子ども教室への参加申込の仕方は市町村によって違います。子ども教室には、各市町村ごとに行政の担当者がおりますので、不明な点などがあればそちらへ問合せをお願いいたします。

子ども教室への参加者の声を聞かせて



スタッフが熱心に
勉強を教えてくださいます
【学び楽級：大衡村】

子ども教室に参加している子どもたちからは、「友だちと過ごすことの楽しさ」や「スタッフの方々がいろいろな行事を企画してくれる」などの声が聞かれました。

スタッフの方々からは、「自分が少しでも役に立てることがうれしい」「子どもたちといっしょに活動することが楽しい」「地域の子どもは地域で育てていきたい」などの声が聞かれました。

保護者からは、「人との関わり方やコミュニケーション能力の育成につながる」「勉強をみてもらえるので、とても助かる」といった声が聞かれました。事業に関わるたくさんの方々から放課後子ども教室を評価する声が聞かれます。

スタッフとして関わりたいのですが？



地域のボランティアさんが
小物入れ制作を教えてくださいます
【いばのっ子クラブ：大崎市】

放課後子ども教室の運営に、個人やサークルなど様々な立場で事業にスタッフとして関わってくださっている方々がたくさんいらっしゃいます。高齢者の方々がゲストティーチャーとして子どもたちに「昔の遊び」を教えてくださいける教室もあります。

放課後子ども教室は実施市町村の教育委員会が担当しています。子どもたちの活動に関わってみたいと思われる方は、ぜひ、お住まいの市町村教育委員会生涯学習、社会教育担当課へお問い合わせください。宮城県では教育庁生涯学習課協働教育班が担当しています。

宮城県教育庁 生涯学習課 協働教育班

Tel 022-211-3690

事業に関わる人たちの研修会はどうなっているの？



新聞紙をちぎって紙吹雪！
家でこんな事できないね
【わいわい宮床っ子：大和町】

子ども教室にはコーディネーター、教育活動サポーター、教育活動推進員等のスタッフがあります。スタッフの方々の資質向上を図り、よりよい事業展開ができるようにするための研修会も開催されています。

宮城県が主催する研修会としては2つあります。本年度は、5月・6月に県内4ブロックに分かれての研修会と、11月に全県を対象とした研修会を予定しています。

5月13日(火)	大崎市	古川総合体育館
5月20日(火)	仙台市	生涯学習支援センター
6月18日(水)	東松島市	市民体育館
6月27日(金)	名取市	まなウェルみやぎ
11月13日(木)	利府町	ひとめぼれスタジアム宮城
11月14日(金)	名取市	まなウェルみやぎ

放課後児童クラブ（いわゆる学童保育）と放課後子ども教室はどう違うの？



将棋，カードゲームで
盛り上がっています
【南方小放課後子ども教室
登米市】

「放課後児童クラブ」は、共働き家庭など留守家庭のおおむね10歳未満の児童に対して、生活の場などを提供する事業です。一方、「放課後子ども教室」は、地域の方々の参画を得て、すべての子どもに放課後や週末の安全で安心な活動拠点（居場所）を確保し、様々な体験活動や学習活動を行う事業です。

このように両事業の目的や性質は異なりますが、放課後などに子どもたちが安心して活動できる場を確保するためには、両事業の充実を図ることが大切であり、国では両事業が一体的または連携して取り組むことができるようにすることを進めており、県内でもこれに取り組んでいる市町村もあります。

宮城県はどのように関わっているの？

宮城県では生涯学習課（協働教育班）が所管しており、「宮城県放課後子ども教室推進事業」の名称のもと、「社会の中でたくましく生きる子ども」の育成をめざし、学校・家庭・地域・行政が協働して行う協働教育の中に位置づけて以下のような取組を行っています。

- 放課後子ども教室に関する情報提供。（「みやぎの協働教育ホームページ」）
- 指導者研修会の開催（子ども総合センターとの共催による「放課後児童クラブ指導員等ブロック研修会」・生涯学習課主催による「宮城県放課後子ども教室指導者等研修会」）
- 実施市町村や学校、放課後子ども教室の訪問。（情報交換や情報収集）
- 事業推進のための関係機関との連絡調整（宮城県放課後子どもプラン連絡調整会議の開催等）



明日も元気で学校来いよ！
ハイタッチでさようなら
【戸倉っ子教室：南三陸町】



子ども教室の活動前に
熱いお茶で一服！
【斎川小放課後子ども教室：白石市】



ドアをゴールに見立てて
サッカーに夢中です
【あけの平チャレンジキッズ：富谷町】

みやぎの協働教育・教育応援団ホームページへのアクセスは下記から

URL <http://www.pref.miyagi.jp/site/kyodo/>